

パリで多発するスリ被害（１）少年少女グループに注意



年間の観光客数が世界一の観光立国、フランス。その中でも最も観光客が集まる観光都市、パリ。日本はもちろんアジア諸国からの観光客の増加に伴い、彼らを狙った軽犯罪も年々増加傾向にあります。今回から数回に分け、パリで頻繁に起こる犯罪の種類や、犯罪に遭わないためのちょっとした工夫をお届けします。

年々増加するスリやひったくり

観光客を狙った主な犯罪には、スリ（Pickpocket ピックポケット）・ひったくり・置き引き・詐欺・警官を装ったクレジットカード詐欺・強奪などがあります。

また、軽犯罪とはいえ暴力事件も起こっています。安全で日本大使館からの渡航注意情報は出ていないとはいえ、日本とはまったく生活習慣が違い、また地域柄、多くの不法移民などがす

ぐ身近に存在します。不用意な発言や行動、不注意で思わぬトラブルに巻き込まれたり、犯罪を誘発する恐れもあります。

憧れのFranceについて心が躍りますが「ここは日本ではない」ということを常に意識しながら行動し、楽しい旅行・滞在にしたいものです。

観光客を狙う電車内スリ

「スリに狙われないために、お持ちのバッグは必ず閉め、貴重品の管理には充分ご注意ください」

これはMétro
やRER

の駅構内での、スリへの注意喚起を促す内容の放送です。英語・フランス語・ドイツ語・日本語・中国語・スペイン語で頻繁に放送されており、それだけスリの被害が多いことが分かります。

被害が多いのはどの路線？

スリの被害がよく起きるのは、常に混雑し、観光客がよく利用するmétro 1、2、4、6、12、13の路線などです。もちろんこの路線に多いというだけで、他は安全というわけではありません。またmétro車内に限らず駅構内でも注意が必要です。



少年少女のスリ集団に要注意

電車の発車間際に数人で乗り込んでくる
小学生～中学生くらいに見える少年少女には充分注意が必要です。

普通の子供たちとの違いは

- ・見渡しても保護者がいない
- ・友達同士のはずなのにばらばらで立つ
- ・あまり会話をしていない、もしくはやたらと大声で話す
- ・荷物がビニール袋や小さいポシェットのようなものだけ
- ・それほど満員でもないのにすぐ傍に立ってくる、囲むように周囲に立ってくる

- ・見た感じは子供なのに妊娠している、赤ちゃんを抱いている
- ・頻繁に車両を移動する、駅に着くたびに下車して別の扉に移動する

...など。もちろん、このような特徴の人すべてがスリとは言えません。しかしもしこれらの多くが当てはまる集団を見た場合は、**鞆をしっかりと抱く**などの注意をしましょう。

よほどのことがない限り、**子供たちだけでmétroに乗せることはありません**

。保護者のいない少年少女のグループを見かけたら、「スリの集団かもしれない」と注意することをお勧めします。

なぜ子供たちがスリを？

フランスの法律では、13歳以下の子供を取り締まることができません。警察が連行した場合でも、半日ほど拘束されて厳重注意を受けるだけですぐに出てきます。ですから子供たちにスリをさせるのです。

狙われやすいのはどんな人？

大人のスリももちろんいます。それほど混雑している車内でもないのに、背後にぴったりとつかれる場合は注意しましょう。**スリが狙うのは、**

- ・観光客。数日滞在して少し慣れてきた人
- ・扉周辺に立っている人
- ・注意力が散漫になっている人

などです。特にスマートフォンに夢中になっている、音楽を聞いている、お喋りに夢中になっている、寝ている人などは要注意です。

パリのmétro

はほとんどの座席が4席ずつのボックス席になっていて、座席間の通路幅は狭いです。そのためスリの集団は、すぐに下車ができて乗客を囲むスペースのある、**扉周辺での犯行を好みます。**

グループでの観光時は特に注意！

一人旅の場合は周囲に気をつけている人が多いのに比べ、グループで観光している人はお喋りに夢中になり、荷物に注意が向きにくいようです。特に、現地に住んでいる友人と一緒に観光をする場合は、**安心感から注意力が欠けてしまう**ことがあります。

実際に一緒にいた友人がすられました

実際に僕が友人と一緒にmétroに乗っていた時、日本から来た友人が財布をすられました。幸いなことにパリ在住のもう一人の友人がスリに気づき、隣の駅で別の車両に逃げた犯人をmétroを停めて問い詰めることができました。

財布はもどり金銭的な被害はありませんでしたが、このような例はごく稀です。

その後、一連の様子を監視カメラで見ていたRATPの職員さんたちから呼び止められ、隣の駅まで逃げた犯人集団は身柄を確保され、警察に連行されていきました。

警察から「この人たちで間違いないか」と確認を求められた時に、犯人が「私たちじゃないわよね?」と白々しく言っていたのを覚えています。

次号に続きます。



執筆 Daisuke

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。



